



晃陽

＜目指す生徒像＞

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

令和6年度第8号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

学校だより 令和7年3月12日

宇都宮市立晃陽中学校長 河内 哲也

今年度の最終号となります。あっという間の1年間でした。ついこのあいだ、新年度が始まったと思いきや、もう年度末です。3年生は卒業し、来月から1年生は先輩と呼ばれ、2年生は進路決定の学年です。時が経つのは早く、一日一日を大切に生徒の成長を見守りたいと感じている今日この頃です。

卒業証書授与式

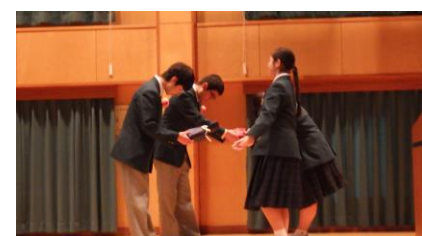
3月11日（火）卒業証書授与式が行われました。卒業生は立派な態度で式に臨み、それぞれの進路へと旅立って行きました。卒業生のさらなる飛躍をお祈りいたします。



3年生を送る会

2月21日（金）上記卒業式に先立ち、「3年生を送る会」が実施されました。生徒会が中心となって企画し、大いに盛り上がりました。3年生も楽しんでくれたようです。

ありがとう



立志・スキー教室



2月10日（月）11日（火）2年生がスキー教室に行ってきました。ほとんどの生徒が初めてのスキーでしたが、楽しく活動していました。夜には立志式を行いました。もうすぐ最上級生になる2年生。立志の決意を新たにしたい、今後の活躍が楽しみです。



カラー版は
晃陽中学校HP



1年間のご支援・ご協力、ありがとうございました

校長として本校に赴任して、2年がたちました。本校は宇都宮市内で一番小さな中学校です。そしてこんなに校長と生徒との距離が近い中学校も、市内には本校しかありません。昨年の、体育祭の準備が終了して解散後の校庭での出来事です。ある3年生の女子生徒が私に「私の弟、どこに行ったか知りませんか」と話しかけてきたのです。彼女は「校長は私のことを知っている。そして私に弟がいることも知っている」という前提で話しかけてきたのです。もちろん私は彼女のことも、彼女に弟がいることも、そして彼女の弟のことも知っていますが、他の中学校では生徒数が多く、管理職が生徒全員のことを知ることはほぼ不可能です。また、生徒が校長に話しかけることも、ほとんどありません。

これはほんの一例で、このようなことが本校で勤務していると数多くあります。教師冥利に尽きるなあ、と日々感じており、校長として晃陽中で勤務できること、この上なく幸せに感じます。今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、この1年間、保護者や地域の皆様からの本校教育へのご理解・ご支援・ご協力を賜り、心より感謝いたします。ありがとうございました。

晃陽中学校長 河内 哲也